



ホ ー ム ペ ー ジ : http://www.keins.city.kawasaki.jp/2/ke205701/	
本校 教育理念 自立協働 自分で考え、人との関わりで 育つ子	9月の生活目標 きまりを見直して生活しよう ・交通ルールを守ろう。 ・授業の前に学習の準備をしよう。

新作小学校

学校だより 9月号 2021年9月1日 発行

「やりすぎ教育」と「むぎゅっ」



校長 堀川 勝也

夏休みが終わり、元気な子ども達の声が教室に戻ってきました。この夏は東京オリンピックが開かれました。前回1964年の東京大会は日本が高度経済成長を遂げる契機となりました。今回のオリンピックは、未来から振り返る歴史の中で、どんなふうに語られるのでしょうか。

教育界においては、今までの教育観を問い直し、子どもの人権に基づき、子どもにとってウェルビーイング（身体的・精神的・社会的に良好な状態）の実現を目指さなければなりません。

臨床心理士で、長年子どもの養育環境の改善に取り組んだ武田信子さんは、著作「やりすぎ教育～商品化する子どもたち」（ポプラ新書）の中で、大人たちがよかれと思ってやってきたことが少しずつずれたり、問題に気がつかないまま進んでしまったりしていることをエデュケーショナル・トリートメント（大人から子どもへ教育の名の下になされる不適切な行為）として問題提起されています。「子どもがまだ判断力がないから親の自分が統制してやらせなければ成功はおぼつかない」と必死になり、思うように成果を上げるためには「将来のために今を犠牲にするのは仕方がない」などとエスカレートすることが、教育熱心を超えて教育虐待につながっていくのではないかと警鐘を鳴らされています。

子どもの人権は、子どもの権利条約批准国の日本にとって最重要に考えなければいけません。私達学校もかつて、運動会などで、今までそうだったから、きちんと統制することが大事などの理由で全体主義に基づいた行進をさせ、教師中心の行事として遂行されてきました。現在は、児童の声を反映することが多くなりましたが、より子ども主体のものを考えていく必要があります。また、その他の教育活動も教育的意義を見直し、過度な競争をあおったり、子どもの人権に関わったりするものを見直しを進めなければなりません。

「やりすぎ教育」に走ってしまう方に見られる傾向として、「かつて自分もそうした教育や躰を受けてきたから大丈夫」ということがあります。

2015年に公開された映画「きみはいい子」（呉美保監督）{原作は同題で中脇初枝著(ポプラ文庫)}の中で、こんなシーンがあります。尾野真千子演じる雅美は、娘に何度も手を挙げてしまう（虐待してしまう）母。ママ友である池脇千鶴演じる陽子宅で、娘がボールをスポンジバットで打って雅美のティーカップを割ってしまう。叩かれそうになり、頭を手

で覆って「ごめんなさい」を何度も叫ぶ娘をつかまえて家に帰ろうとする雅美に陽子が抱きつき、「親からひどいことされたよね。わかる。私もそうだったから」と自身も親から虐待を受けたが、近所のおばあさんに抱きしめられて、会うたび「べっぴんさん」と声をかけられて助けられたことを打ち明ける…。

やはり人は、互いに支え合いながら、学校便りのタイトルにもなっている「愛」によって生きていくんだと教えられるシーンです。

コロナ禍でお子さんが不安を抱えているかと思います。お子さんが優しい行動をしたとき等、ぜひ、むぎゅっを抱きしめて下さい。

お知らせとお願い

- ・緊急事態宣言発令のため、9月1日（水）から10日（金）まで、4時間授業になります。各学年1時15分ごろ下校になります。
- ・ギガたん（児童1人1台担当されているタブレットの愛称です。GIGA端末の意味です。）をご家庭に持ち帰るようにしています。学年に応じて決められた日に学校に持っていくようにお願いします。ただ、充電器についてはご家庭に置いておいて、充電をしておくようにお願いします。13日（月）に、ギガたん充電器を学校に持たせてください。ただ、コロナ禍の状態によっては変更する場合があります。そのときは、またお知らせします。
- ・児童がPCR検査を受ける場合、必ず学校へ連絡をお願いします。
- ・9月に予定していました懇談会は、中止となります。各学年からのちほど資料をお配りします。
- ・緊急事態宣言が発令中は、予定されていた行事は、5年生を除き「計測」以外中止及び延期になります。9月13日以降の予定は、また近くなりましたらお知らせします。



（5年生の行事については、5年の学年だよりをご参照ください。）

